

コマツナで使用できる主な農薬（2020.5.1現在）

都GAP 26 / J-AGAP 24.1.2

【殺虫剤】

※2020年5月1日現在の農薬登録状況です。農薬使用前に登録内容を確認の上、使用してください。

中央農業改良普及センター東部分室

薬剤名	薬剤系統区分	作用機構分類コード	有効成分	適用病害虫	希釈倍数	使用量	使用時期	使用回数	有効成分の総使用回数	コマツナのナバナ的利用※	
エスマルクDF水和剤☆	BT(バチルスチューリンゲンシス産生毒素)	11A	バチルスチューリンゲンシス産生毒素	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、オオタバコガ	コナガ、アオムシ(×1000~2000) オオタバコガ、ヨトウムシ(×1000)	100~300ℓ/10a	1	—	—	○	
カスケード乳剤★	IGR(昆虫成長制御剤)	15	フルフェノクスロン	コナガ、アオムシ、マメハモグリバエ	×2000	100~300ℓ/10a	7	2	2回以内	○	
マッチ乳剤★			ルフェスロン	アオムシ、コナガ	×2000	100~300ℓ/10a	3	3	3回以内	×	
アグロスリン乳剤★	合成ピレスロイド	3A	シベルメトリン	アブラムシ類	×2000	100~300ℓ/10a	1	2	2回以内	×	
フォース粒剤★			テフルトリン	ネキリムシ類、キスジノミハムシ	4kg/10a	は種時	1	1回	○		
アクトラ顆粒水溶剤	ネオニコチノイド	4A	チアトキサム	アブラムシ類	×2000	100~300ℓ/10a	3	2	3回以内(但し、は種時の作業混和は1回以内、は種後は2回以内)	×	
アクトラ粒剤5					6kg/10a	は種時	1	×			
アルバリン顆粒水溶剤★			ジノテフラン	アブラムシ類、キスジノミハムシ	アブラムシ類×3000 キスジノミハムシ×2000	100~300ℓ/10a	3	2	3回以内(但し、は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)	○	
スタークル顆粒水溶剤★					6kg/10a	は種時	1	○			
アルバリン粒剤★			イミダクロプリド	アブラムシ類	アブラムシ類	3~6kg/10a	は種時	1	2回以内(但し、は種時の土壌混和は1回以内)	○	
スタークル粒剤★					アブラムシ類、コナジラミ類	×4000	100~300ℓ/10a	14	2	×	
アドマイヤー1粒剤★			アセタミプリド	アブラムシ類、キスジノミハムシ、カブラハバチ	アブラムシ類、キスジノミハムシ	×4000	100~300ℓ/10a	7	1	1回	○
アドマイヤーフロアブル★					アブラムシ類、キスジノミハムシ、カブラハバチ	×4000	100~300ℓ/10a	7	1	1回	○
モスピラン顆粒水溶剤★			クロチアニジン	アブラムシ類	コナガ、アブラムシ類	3kg/10a	は種時	1	1回	×	
モスピラン水溶剤★					アブラムシ類	6kg/10a	は種時	1	4回以内(但し、は種時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内)	×	
モスピラン粒剤★			アブラムシ類	×2000~4000	100~300ℓ/10a	3	3	×			
ダントツ粒剤			有機リン	1B	アセフェート	アブラムシ類	×1500	100~300ℓ/10a	21	1	1回
ダントツ水溶剤	アブラムシ類	3~6kg/10a				は種前	1	×			
ダイアジノン粒剤5	ダイアジノン	ケラ、ネキリムシ類、キスジノミハムシ	6kg/10a	播種時(ネキリムシ) 播種・出芽時	1	1回	○				
スピノエース顆粒水溶剤★	スピノシン	5	スピノサド	アオムシ、コナガ、アザミウマ類、ハモグリバエ類、ヨトウムシ類、ハイマダラノメイガ	×2500~5000	100~300ℓ/10a	14	2	2回以内	×	
ディアナSC			スピネトラム	コナガ、アザミウマ類、ハスモンヨトウ、アオムシ、ハイマダラノメイガ	×2500~5000	100~300ℓ/10a	1	2	2回以内	○	
エコビタ液剤☆	天然物由来	—	還元澱粉糖化物	アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ類、うどんこ病	×100	100~300ℓ/10a	1	—	—	○	
サンクリスタル乳剤☆			脂肪酸グリセリド	アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ類、うどんこ病	×300~600 (アブラムシ、コナジラミ類 ×300)	150~500ℓ/10a	1	—	—	○	
アフファーム乳剤	マクロライド	6	エマメクチン安息香酸塩	コナガ	×2000	100~300ℓ/10a	3	2	2回以内	○	
アニキ乳剤★			レピメクチン	コナガ、ハスモンヨトウ、キスジノミハムシ、ハモグリバエ類	×1000~2000	100~300ℓ/10a	1	3	3回以内	×	
ブレバソンプロアブル5★	ジアミド	28	クロラントラニプロール	コナガ	×2000	100~300ℓ/10a	1	2	2回以内	○	
フェニックス顆粒水溶剤★			フルベンジアミド	コナガ	×2000~4000	100~300ℓ/10a	1	2	2回以内	○	
ヨーバルフロアブル★			テトラニプロール	コナガ	×5000	100~300ℓ/10a	1	2	2回以内	×	
コテツフロアブル	その他	13	クロルフェナビル	コナガ、アオムシ、ハクサイダニ	×2000	100~300ℓ/10a	3	1	1回	×	
アクセルフロアブル★		22B	メタフルミゾン	コナガ、ハスモンヨトウ、キスジノミハムシ	×1000(コナガ、キスジノミハムシ)、×2000(ハスモンヨトウ)	100~300ℓ/10a	1	3	3回以内	×	
ウララDF★		29	フロニカミド	アブラムシ類	×4000	100~300ℓ/10a	1	2	2回以内	○	
スラゴ☆	UN	UN	磷酸第二鉄	ナメクジ類、カタツムリ類、ヒメコマイマイ、アリカマイマイ		アフリカマイマイ(3~5g/m ²)、カタツムリ類(1~5g/m ²)、ヒメコマイマイ5g/m ² 、ナメクジ類(1~5g/m ²)	発生時	—	—	○	
ブレオフロアブル	UN	UN	ピリダリル	コナガ、ハスモンヨトウ	×1000	100~300ℓ/10a	1	2	2回以内	○	
トランスフォームフロアブル★	4C	4C	スルホキサフロル	アブラムシ	×2000	100~300ℓ/10a	1	3	3回以内	×	

使用時期の数字は、収穫前日数を示す。1とは収穫前日までを意味する。

※コマツナのナバナ的利用は、「なばな類」での使用時期・使用回数も確認すること。「なばな」のみの登録農薬は使用不可

☆野菜類での登録、★非結球アブラナ科葉菜類での登録

コマツナで使用できる主な農薬 (2020.5.1現在)

都GAP 26 / J-AGAP 24.1.2
中央農業改良普及センター東部分室

【殺菌剤・土壌消毒剤】 ※2020年5月1日現在の農業登録状況です。農薬使用前に登録内容を確認の上、使用してください。

薬剤名	薬剤系統区分	作用機構分類コード	有効成分	適用病害虫	希釈倍数	使用量	使用時期	使用回数	有効成分の総使用回数	コマツナのナバナ的利用※	
Zボルドー水和剤☆	銅	M1	塩基性硫酸銅	べと病、黒腐病、軟腐病、褐斑細菌病、斑点細菌病、黒斑細菌病	×500	100～3000/10a	—	—	—	○	
ヨネポン水和剤★			ノニルフェノールスルホン酸銅塩	白さび病、軟腐病	×500	100～3000/10a	14	4	4回以内	○	
ジーファイン水和剤☆	無機・銅	NC・M1	炭酸水素ナトリウム	白さび病、うどんこ病、軟腐病	×1000 (うどんこ病 ×750～1000)	150～5000/10a	1	—	—	○	
ベンレート水和剤★	ベンゾイミダゾール	1	ベノミル	炭そ病、白斑病	×4000	100～3000/10a	21	1	2回以内(但し、種子粉衣は1回以内、散布は1回以内)	×	
アミスター20フロアブル	ストロビルリン	11	アゾキシストロピン	白さび病、白斑病	×2000	100～3000/10a	7	2	3回以内(但し、粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)	×	
スクレアフロアブル★			マンデストロピン	炭そ病	×2000	100～3000/10a	1	3	3回以内	×	
ユニフォーム粒剤	アミド・ストロビルリン	11・4	メタラキシルM・アゾキシストロピン	白さび病		9kg/10a	は種前	1	アゾキシストロピンを含む農薬は、3回以内(但し、粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)、メタラキシル及びメタラキシルMを含む農薬は、2回以内(但し、種子への処理は1回以内、土壌混和は1回以内)	×	
フロンサイド粉剤	その他	29	フルアジナム	根こぶ病、立枯病(リソクトニア菌)		30kg/10a	は種前	1	1回	○	
オラクル粉剤★		21	アミスルブロム	根こぶ病		20～30kg/10a	は種前又は定植前	2	6回以内(但し、土壌混和は2回以内、灌注は1回以内、散布は3回以内)	×	
オラクル顆粒水和剤★				根こぶ病		200～300g/10a、1000 (全面散布後土壌混和)	は種前	2		○	
ライメイフロアブル★				白さび病	×2000～4000	100～3000/10a	3	3	6回以内(但し、土壌混和は2回以内、灌注は1回以内、散布は3回以内)	×	
ランマンフロアブル★				シアゾファミド	白さび病	×2000	100～3000/10a	3	3	3回以内	○
ネビジン粉剤★		36	フルスルファミド	根こぶ病		20～30kg/10a(全面土壌混和) 20kg/10a(作条土壌混和)	は種前又は定植前	1	1回	○	
ネビリュウ粉剤★				根こぶ病		30kg/10a(全面土壌混和) 20kg/10a(作条土壌混和)	は種前	1	1回	○	
ガスタード微粒剤	MITC	8F、M3、Z(26)	ダブメット	萎黄病、根こぶ病、1年生雑草		20～30kg/10a(均一に散布して土壌と混和する)	播種10日前まで	1	1回		

使用時期の数字は、収穫前の日数を示す。1とは収穫前日までを意味する。

※コマツナのナバナ的利用は、「なばな類」での使用時期・使用回数も確認すること。「なばな」のみの登録農薬は使用不可

☆野菜類での登録、★非結球アブラナ科葉菜類での登録